

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		狭山保育園運営費 [狭山保育園運営事業]									
予算科目	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 3	市立保育園運営費	事業番号	2			
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	保育課		課		狭山保育園		係	課長名	岩崎 かおり		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 4			
【施策名】 児童福祉の推進							総合計画書 (ページ)	59			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 労働形態、通勤事情等に伴い保育を真に必要とし、狭山保育園に入所している児童				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 保育園在籍園児数 85人 →						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 在園児が安全に狭山保育園で生活を送れる。 保護者が狭山保育園に安心して子どもたちを預ける。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 医療機関受診を伴う事故件数 11件 →						
	③ そのために何をしましたか。 年間を通じて、園児を安全かつ個々の成長に応じた保育を行った。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 年間保育日数 292日 →						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	82	92	85					
	成果指標	②の数値	件	3.0	4.0	11.0					
	目 標	②の目標値	件	0	0	0	0	0			
		目標値設定の考え方 保育中の事故をなくす									
3 経費	事業費(実績)		円	56,867,774	55,480,346	66,448,540	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	48,154,880	45,541,554	41,145,186					
		特定財源(国・都・他)	円	8,712,894	9,938,792	14,335,160					
		(うち受益者負担)	円	228,000	1,212,500	1,588,400					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	16.0	16.0	16.0					
		所要人数(再任用)	人	3.0	2.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	132,960,000	132,960,000	134,080,000					
		職員人件費(再任用)	円	0	0	0					
事業費+人件費		円	189,827,774	188,440,346	200,528,540						
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和49 年度										
	(2) 環境の変化 保護者の就労形態の多様化、通勤時間の増加等に対処するため、児童福祉の向上を図ることを目的に実施した。										

事業名称	狭山保育園運営費 [狭山保育園運営事業]			
担当部署・課長名	保育課	課	狭山保育園	係 課長名 岩崎 かおり

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 在園児保護者からの1回利用の延長保育の利用申請の増加。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 保育士不足を補う会計年度任用職員の雇用が困難である。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 会計年度任用職員の保育士の募集を行ったが応募はなく、シルバー派遣等で保育補助を行った			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 延長保育等保育の多様化による保育士不足については、保育園の立地及び会計年度任用職員の雇用が困難である。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 児童福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 保育体制の見直し			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	国・東京都・周辺自治体の動向について情報収集を行う。			